

議会だより のだ

ボランティア祭り 29.10.14

ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp/>
Eメール gikai@vill.noda.iwate.jp

平成29年9月 第9回定例会

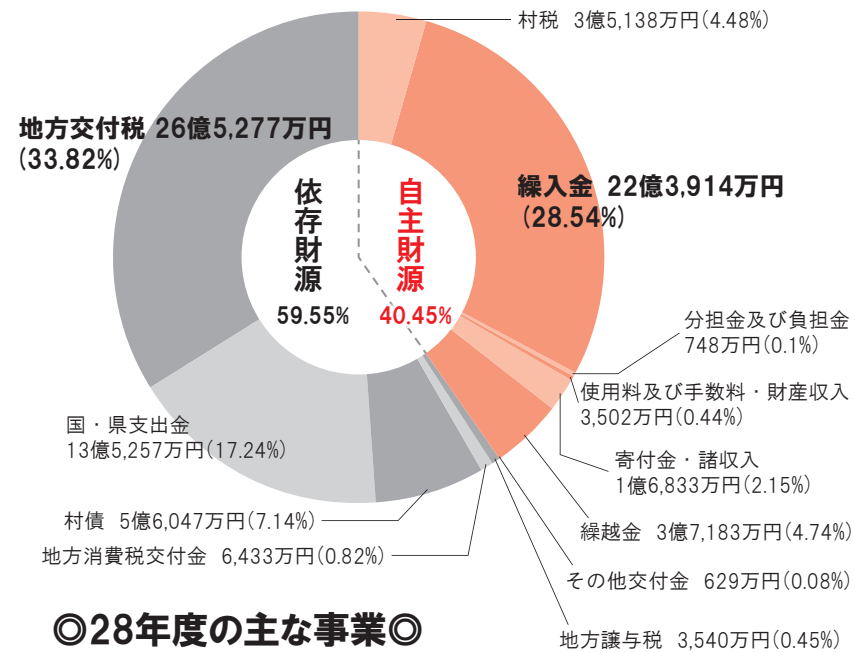
◎主な内容◎

- ・定例会の概要……………2・3ページ
- ・決算特別委員会質疑……………4ページ
- ・一般質問 5人が登壇…5～10ページ
- ・議案採決一覧表……………11ページ

2017
11/24
第141号

歳入内訳

歳入総額 78億4,505万円



◎28年度の主な事業◎



平成28年度
一般会計

—決算の状況—

◎決算の特徴◎

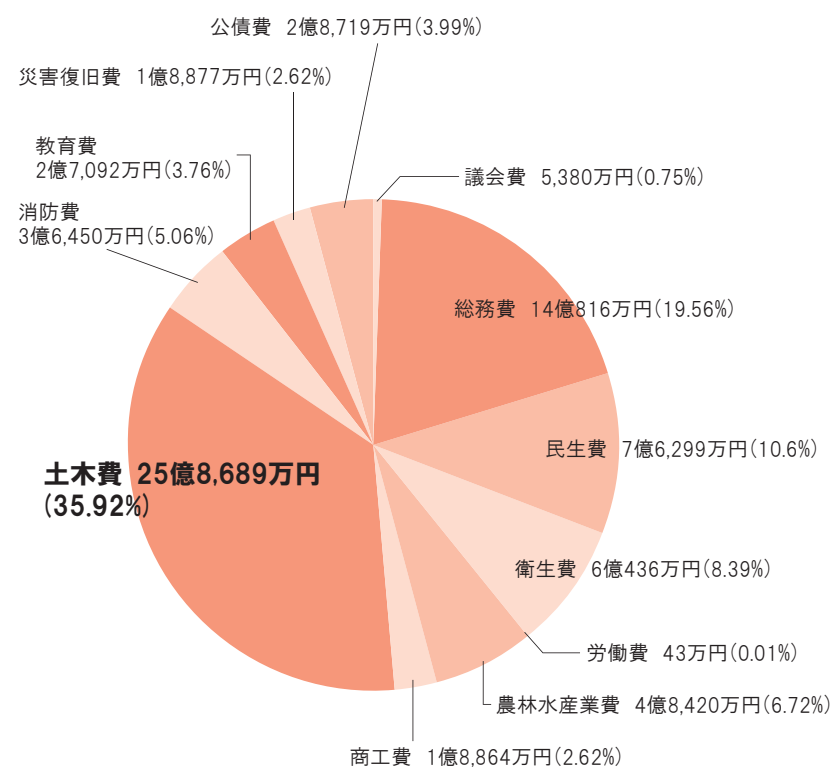
歳入は、前年度から2億4,714万円減って、78億4,505万円となりました。村が直接集めた財源である自主財源は、昨年より9.71%の減となりました。国や県から配分されたお金を中心とした依存財源は、全体では9,428万円、2.06%の増となりましたが、復興事業の完了等により国庫支出金は56.74%の減となっています。

一方歳出は、前年度から5億1,946万円減の72億91万円となりました。目的別で見ると震災後引き続いて土木費の割合が高くなっていますが、昨年度と比較して5億3,122万円、17.04%の減となっています。

都市公園事業や保健センター、防災センター整備事業などのハード事業が概ね28年度で完了し、今後は賑わいの再生やコミュニティの再生等のソフト面の復興が重要となります。

歳出内訳

歳出総額 72億91万円



復興完遂へ向けて

—平成28年度 決算を認定—

9月定例会は、9月6日から14日までの9日間で開催され、29年度一般会計・特別会計の補正予算を可決したほか、新たな農業委員についても承認しました。決算特別委員会は、9月11日と12日で行われ、28年度の一般会計および8つの特別会計を慎重調査し、すべての会計を「認定すべきもの」と決定しました。(3ページ～4ページ)
また、請願1件、陳情2件を受理し、総務教民常任委員会へ付託。3件すべて「採択すべきもの」とし、国へ意見書を提出しました。
一般質問は5名が登壇し、村政に鋭く切り込みました。(5ページ～10ページ)

総額 46億7,076万円へ

質疑 Q&A

山田議員 むらづくり推進事業費補助金の70万円増の中でソフト事業が1件とのことだが、内容は。

総務課長 三陸鉄道の電車を貸切り、地域のつながりを深めたいという活動に対し、村内のある地区に補助金を出した。概要等は広報に載せてきたが、今後座談会等で広めていきたい。



地域の活性化のために様々な取り組みが必要です
(写真は3月の十府が浦海岸駅開業イベント)

～ 一般会計補正予算 ～

3億7,350万円を追加

◎主な補正内容◎

○歳入○

- ・普通交付税・・・1億289万円
- ・社会保障・
税番号制度システム整備費補助金・・・270万円
- ・東日本大震災
津波復興交付金基金繰入金・・・1,403万円
- ・前年度繰越金・・・2億4,677万円
- ・土地区画整理事業換地処分清算金収入・・・164万円

○歳出○

- ・財政調整基金積立金・・・2億9,769万円
- ・むらづくり推進事業費補助金・・・70万円
- ・マイナンバーカード等の記載事項の充実に関する
システム改修経費・・・270万円
- ・岩手県後期高齢者医療療養給付金負担金・・・341万円
- ・簡易水道事業特別会計繰出金・・・1,450万円
- ・土地区画整理事業・・・816万円

◎村政を問う◎

～一般質問 5人が登壇～

○小野寺 光男 議員 …… 6ページ ー 消防団関係について ー

その他の質問

・都市公園の整備について ・村道、県道の修繕について ・台風10号災害の復旧状況について

○米 田 徳一郎 議員 …… 7ページ ー 国道45号の嵩上げ要望について ー

その他の質問

・施設の維持管理について ・明内川の水害対策について
・総合発展計画と過疎地域自立促進計画等について
・台風10号の復旧状況について ・公立高校の統廃合について

○山 田 陽 子 議員 …… 8ページ ー 住民懇談会のあり方について ー

その他の質問

・野田まつりについて ・医療費の動向と対応策について ・買い物弱者の対応策について
・福祉施設の水害避難計画について ・過疎債事業の計画について
・教育委員会関係施設整備について ・村の歴史文化について

○古 舘 幹 男 議員 …… 9ページ ー 一次産品の生産体制について ー

その他の質問

・みちのく潮風トレイルについて ・復興道路について

○宇 部 武 典 議員 …… 10ページ ー 村営バスリニューアルに伴う課題について ー

その他の質問

・大震災大津波からの復旧・復興のとりくみについて ・保育行政に関して
・子どもの医療費助成の現物給付化をめざす問題について
・国保事業の広域化にかかわる問題について
・野田村住宅リフォーム事業奨励金制度に関して
・学校教育にかかわる問題について
・核兵器禁止条約への参加を政府に求める問題について

※本号掲載以外の質問に関しては村HPをご覧ください
<http://www.vill.noda.iwate.jp/>

質疑

Q & A

野田村においてマイナンバーを作成した人はどのくらいか。

⇒3月末で416件である。申請分は、7月末で434件であり、全国平均とほぼ同じである。

山ぶどうワインプロジェクト支援事業補助金の内容は。

⇒製造したワインを運ぶためのリフトや長期醸造するための樽や整理保管するためのラックの購入助成だ。



ワインを保管する旧玉川鉾山坑道入口

地域水産加工品販路拡大事業の内容は。

⇒半分以上は人件費だ。また、水産加工品などの市場調査や業務委託費である。加工品調査を外部に委託している。

アジア民族造形館のこれからの活用方法は。

⇒史料の展示だけでは難しい。曲がり屋の宿泊体験など総合的な検討が必要だと考える。



施設の有効活用など依然として課題が残ります

学校支援地域本部事業の内容は。

⇒学校と地域の連携を図りながら、地域の教育力を学校教育に生かすというもので、村内のボランティア団体等からゲストティーチャーとして事業支援いただいている。

村民プールの改修や温水化については検討しているか。

⇒鉄骨等や濾過機の老朽化が見られており、色々と検討しなければならない。



・震災応援職員宿舎建設事業
…… 8,553万円



・児童福祉対策事業
…… 2億9,425万円



・地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業
…… 3,560万円



・村営住宅整備事業
…… 1億4,257万円



・消防施設等整備事業
…… 2億597万円



米田 徳一郎 議員

国道45号の嵩上げ要望は

村長 機会ある毎に要望していく

国道45号の嵩上げと都市公園の整備について、どのような協議がされたか。また、嵩上げの実現性は。

村長 当初都市公園事業はなく、高台を削った土を持ってきて、盛土で津波を防ぐ計画だった。話し合いの中で土地の買い上げもできるという事で都市公園事業を導入した。国や県の回答は嵩上の計画はないというものだが、引き続き機会ある毎に要望を行う。

「震災復興関連施設」の管理状況は

都市公園及び区画整理区域内の公園、トイレなどの管理状況、並びに管理団体の充足状況、協働による管理の現状と課題、解消見込みを問う。

村長 十府ヶ浦公園の維持管理については各団体との協働により管理する予定で協議中だ。ひだまり公園等の管理は商工会や町内会と覚書を交わしながら管理をお願いしているが大きな課題は伺っていない。広大な面積を持つ十府ヶ浦公園は遊具やトイレ、駐車場が整備されており、皆さんが楽しく利用できるよう常に注意し、管理してまいりたい。



広大な面積の管理には、十分な体制が必要です

台風10号被害の復旧状況は

台風10号からの復旧状況と漁業への与える影響など原因調査の実施支援と防災対策はどのようなか。



下安家サケマスふ化場のようす (11月8日撮影)

村長 土木施設及び上下水道施設の復旧工事は全て発注が完了、工事が順調に進捗すれば年度内に全て完了する見込みである。甚大な被害を受けた下安家地区については住家も被災しており、サケマスふ化場を含めた防災対策を国県に対し強く要望していく。

被害のあった養殖施設、共同利用施設は種苗施設等の復旧に目処がたったところであり、農林業施設5か所の災害復旧工事については、全て発注済みであり、概ね完了である。

漁業への影響は、ウニ漁の不漁は2、3月の海水温が平年より高く、ウニが活発に活動したことで餌不足となり不漁となった。

今期の結果を踏まえ現状把握や対策について、検討会が開催される予定だ。

消防団手当の商品券化は

村長 現時点ではハードルが高い

消防団の出動手当や年報酬の一部について、村の商品券で支払ってはどうか、村内商店の活性化になり、また村でも商店に支援が出来れば、各商店が消防団員に対して様々な形で応援することで、家族の理解も得られ団員確保に繋がると思うが、考えを伺う。

村長 内部検討してきたが、条例改定を含め財務会計上支払い確認等事務が複雑になり、ハードルが高い状況と考える。

2年前の質問で、消防団の再編と団員の確保について、村長は「人口が減少している中で、団員の確保は非常に厳しいものがあるが、各分団の努力により村民の生命財産を守るため尽力いただいている。生活再建等が整った段階で定数改定を含め消防団と検討したいと考えている。」と言われたが、その後どの様に検討されたか伺う。

村長 仮設住宅から被災者全員が退去され一つの区切りと感じている。今後消防団員数の減少を考慮し、検討する。



再編と団員確保が喫緊の課題です (操法大会の様子)



小野寺 光男 議員

都市公園整備は計画どおりか

都市公園事業も完成し、各所において草刈りなどの整備が行われている様子が見られるが、作業が追い付いていないように感じられる。予定された整備計画通り行われているか伺う。

村長 十府ヶ浦公園を含めた都市公園は、21世紀むらづくり委員会により使いやすい環境作りに繋がられるよう、村民と行政が協働する体制の構築を進められるよう答申を頂いている。村内の各団体等と協働で維持管理を行っていく予定で、現在、方法等について事前協議させて頂いており、整い次第覚書の締結を行っていきたいと考えている。

公園内だけでなく国道や村道の法面または河川の堤防なども並行して草刈りを行わないと、外から見ると、綺麗に整備されている公園とは評価しないと思うが、考えを伺う。



使いやすい環境整備のために草刈りなど計画的な整備が必要です

村長 国道の法面または河川等は管理主体が異なりますが、管理者の方々に適切な管理のお願いをしながら進めていきたいと考えている。



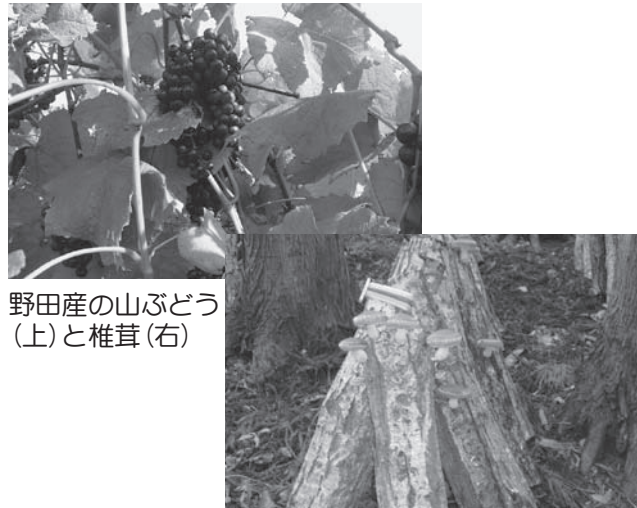
古 舘 幹 男 議員

農水産物生産のこれからは

村長 生産量を伸ばしながら、活性化を図る

荒海ホタテ、山ぶどう、原木椎茸、野田塩の5年間の生産者と生産量の推移について伺う。

村長 荒海ホタテについては、生産者は18人で推移、生産者は23年の5.9トンから28年度は200トンまで回復している。山ぶどうについては24年度は生産者が14人で27トン、28年度は12人で29トン。原木椎茸については、24年度が生産者が23人で5.5トン、28年度は20人で約6トンである。野田塩については24年3月に製造販売を再開しているが、毎年6トンから7トンの生産量で維持している。

野田産の山ぶどう
(上)と椎茸(右)

生産者の体制は、現状のままで維持できる見通しなのか。

村長 荒海ホタテは、ブランド化が進行しつつあり、非常に評価が高い状況だ。しかし、震災前の状況に戻っていない。高齢化などの問題もあり、後継者もない状況なので、様々な施策を漁協とともに協議しているところだ。新規就業について様々な取り組みや支援について進めている。評価が高くなっているの、生産量を伸ばしながら、漁業の活性化に努めていきたい。

ホタテについても、山ぶどうについても椎茸についてもそうだが、収穫時期に手伝ってくれる方々が高齢化し、人手不足である。人材センターのようなものを設立して、要請があったら派遣するような体制は作れないか。

村長 作業を応援してくれる方々が高齢化している実態は認識している。そのような中で、収穫時期の応援体制づくりを検討している。普段は別の仕事もしながら、一年を通じて、様々な作業のお手伝いをするということだ。

ルート整備はどのような

本村のみちのく潮風トレイルについて、ルート整備はどうなっているのか。担当はおいているのか。

村長 27年8月に野田村ルートの一部として、野田・普代北部間がすでに開通しており、県や八戸普代間利用促進協議会など関係団体と連携し、利用促進に努めている。野田村のルート設定については、観光担当者が積極的に参画し、開通後はウォーキングイベントやツアーなどの開催に携わっている。

新しいルート等が開通しているようだが、草刈が進んでいない場所があった。定期的な巡回は行われているか。また、目印はもう少し大きくても良いと感じるが。

村長 管理が行き届いていない部分については、お知らせをいただいて、歩く方が邪魔にならないように管理していきたい。標識については、若干見にくいと感じている。今後検討していく。いずれにせよ、トレイルは地域にとって貴重な観光資源であると考えている。

参加者減の住民懇談会の在り方は

村長 開催方法を検討していく



山 田 陽 子 議員

住民懇談会は例年よりも参加人数が減少傾向で、住民の関心度の低さが危惧されるが、実施状況をどのように捉えているのか。また、若い世代や子育て世代の参加も含め、住民の関心度を高められる新たな懇談会の取り組みが必要だと考える。

村長 23年度が467人と最大で、今年度は226人の参加となった。懇談会は村民と対面しながら、村の情報提供をして地域の課題を共有する場でもある。村の行政サービスが行き届かない部分を地域から上げてもらい、認識を共有することで行政と地域をつなぐ重要な機会と考える。次年度は多くの住民が参加できるよう開催方法を検討し、工夫していく。

ひだまり公園等がメイン会場になった経緯は

野田まつりのメイン会場及び特設ステージがひだまり公園になった経緯と体育館での盆踊りなど例年と違った形になったのは。また、今後の対応は。

村長 愛宕神社前にメイン会場を設定することによる「祭りの一体感」や「街中心部の賑わいを創出すること」を狙いとして実行委員会が決定した。盆踊りについては、気象予報を受けて変更したものである。様々な意見を伺い、民間が主導で村としてもできる限り協力していく。



初めてのメイン会場となったひだまり公園

医療費の動向とこれからの対応策は

過去10年間の性別・年代別の医療費の動向を疾患等の数値と実態を示しながら具体的に今後の健康増進にどのように繋げていくのか。対応策も示せ。

村長 国保の被保険者数は、この10年で半数に減少しているが、療養給付費は、増加している。(下表参照)

年度	保険者数(人)	療養給付金(千円)
19	2,753	271,600
28	1,347	341,500

近年は、復興事業従事者等の社会保険への加入、後期高齢者医療への移行等による被保険者の減がある一方で、医療の高度化等により一人あたりの費用額が大きくなる傾向が続いている事が特徴である。平成28年度の医療費の割合は、国・県の状況と比較し精神疾患・糖尿病・高血圧の割合が高い。精神疾患では、男性が50歳代、女性は40歳代以降で高く、がんと糖尿病では、男性が40歳代、女性が60歳代で高い。このような状況は年度ほぼ同様の傾向で、生活習慣等に起因するものも多く、早期発見による生活習慣の改善が不可欠である。特定健診の受診率向上、検診受診後の保健指導、有所見者の未受診者解消の取り組み等を推進し、こころの健康づくりにおいても関係機関と連携した取り組みを継続し、健康保持に取り組んでいく。

○国会議員への要望提出○

9月25日、北部地区町村議会議長会は衆・参議院会館内の岩手県選出国会議員事務所を訪れました。各訪問先では、北部地区町村が抱えるインフラ整備や農林水産業振興に関する喫緊の課題等に関する要望を提出しました。



木戸口参院議員へ要望書を提出する一同

○請願・陳情○

9月定例会には、請願1件、陳情2件を受理。総務教民常任委員会に付託され審議が行われました。慎重審議の結果、3件とも「採択すべきもの」として決定し、発議案として議会へ提出。3件とも可決され、国へ意見書を提出しました。

- 陳情第8号「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情
○陳情者：全国森林環境税創設促進議員連盟 板垣一徳
○内容
森林対策の抜本的強化をはかるために必要な「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。
- 陳情第9号「私学教育を充実・発展させるための陳情」
○陳情者：私学助成をすすめる岩手の会 会長 土屋直人
○内容
過疎地域の私立学校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金を更に充実させることを求める。
- 請願第5号「日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が承認することを求める請願」
○請願者：岩手県原爆被害者団体協議会 会長 伊藤宣夫
○内容
核兵器禁止条約に署名し、国会での承認を経て正式に国連会議に参加することを求める。

7月臨時会・9月定例会採決一覧表

○…賛成 ×…反対
※議長は採決に参加しない。

会議	議案番号	議 案 内 容	宇部武典	岩岡吉比古	古館幹男	八幡文耕	山田陽子	内野澤進	米田徳一郎	米田忠一	小野寺光男	中川大和	廣内和之	貳又正人	結果
臨時9会回	議案第1号	平成29年度野田村一般会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第2号	財産の貸付けに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第3号	都市公園事業整備（3号）工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第9回定例会	報告第1号	株式会社のだむらの経営状況に関する書類の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	報告第2号	平成28年度決算に基づく野田村健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	認定第1号	平成28年度野田村一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	認定第2号	平成28年度野田村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	認定第3号	平成28年度野田村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	認定第4号	平成28年度野田村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	認定第5号	平成28年度野田村漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	認定第6号	平成28年度野田村公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	認定第7号	平成28年度野田村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	認定第8号	平成28年度野田村国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第1号	平成29年度野田村一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第2号	平成29年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第3号	平成29年度野田村簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第4号	財産の取得に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第5号	農業委員会の委員の少なくとも4分の1を認定農業者等又はこれらに準ずる者とするに関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第6~16号	農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第17号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	発議案第1号	日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が承認することを求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可
	発議案第2号	全国森林環境税の創設に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	発議案第3号	私学助成の充実を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

新たな村営バスの評価をつかんでいるか

村長 利用者の声を大切にし、工夫していく



宇部武典 議員

村営バスをリニューアルし、2台体制という画期的な形に踏み切り、時刻表も高校生に作成してもらうなどしたわけだが、利用者の声として時刻表に数字だけ書いてあり、どの時間帯にどこを通って行くのかわからないという事が言われている。若い世代ならよいが、初めての人や高齢者には判断しづらい。また、2台体制になり向かう方向がわからなく、三鉄とのつながりが悪くなったという声が聞こえるが。

村長 8月9日から2台体制とし、運行回数やルートも増やし、運行体系も大幅に改定した。広報8月号にルートを分解して表記し、時刻表も掲載している。しかし、実際に時刻表がわかりにくいという声や県立久慈病院まで行けないという相談が数件あった。まだまだ、利用者に戸惑いがあることは、承知しているので、もうしばらく時間を要しても、利用者の声を大事にして利用しやすいバスとなるように努力していく。



広報8月号での紹介ページ(上)と
役場前の時刻表(右)

災害公営住宅の家賃の払下げ価格は

災害公営住宅の払下げ価格については、村が一定の価格を負担しても、その価格を下げて被災者の方々が取得しやすいようにして、村の管理を減らしていくことが、維持管理経費の縮減にもつながると考えるが。

村長 一般の村営住宅家賃との整合性を図ることも検討しながら、一般の村営住宅の家賃を含め、県に準じた低所得者向けの家賃減免措置を検討していきたいと考えている。7月に実施した災害公営住宅の払い下げ希望について意向を確認したところ、入居100世帯中20世帯の希望があったところだ。今後も毎年、災害公営住宅の払下げ希望に関する意向を継続して調査して、個別面談に応じる予定だ。



災害公営住宅（門前小路第2団地）

以前の調査では、50%近い払下げの希望があったが、減少した理由は。また、維持管理経費の試算は。

村長 当初多くの希望があったのは、入居後の状況が見えてこなかったからだ。個々の世帯の状況を見るとひとり暮らしであったり、後継者が帰ってこない等の理由があるようだ。払下げ価格の金額については、内部では検討中だが、これから価格などが変動していくので具体的な数字は控えさせていただきます。

村政調査会視察研修

9月21日に野田村村政調査会（八幡文耕会長）の活動として、群馬県玉村町の「道の駅 玉村宿」を視察しました。今回の視察は昨年に引き続き、三陸沿岸道路野田IC近くに建設計画中の観光物産等複合施設及び道の駅「のだ」の在り方について今後の参考とするための視察です。



玉村宿の外観



担当者の説明に熱心に耳を傾けます



玉村宿は「肉の駅」として有名です

◎議会の動き◎

《7月》

- 7月 5日 県町村議会議長会政務調査会
(西和賀町)・・・議長
- 7月 8日 小野寺敬作氏
農協代表理事組合長就任祝賀会
(ロイヤルパーク)・・・議長
- 7月 9日 北区地区コミュニティセンター
完成祝賀会・・・議長
- 7月18日 臨時会・村政調査会・・・全議員
- 7月19日 北部地区町村議会議長会研修会
(軽米町)・・・全議員
- 7月20日 国道281号・三陸北道路整備促進同盟会
(仙台市)・・・議長
- 7月26・27日
県町村議会議長会夏季議員大学講座
(盛岡市)・・・副議長、岩岡議員、古舘議員
- 7月28日 久慈工を守り育てる会
(学習センター)・・・議長
- 7月30日 佐藤匡宏氏 瑞宝双光章を祝う会
(東海大学校友会館)・・・全議員

《8月》

- 8月 3日 北部地区町村議会議長会要望
(久慈市・盛岡市)・・・議長、副議長
- 8月 8日 久慈地区議員連絡協議会総会
(久慈市役所)・・・議長、副議長
- 8月 9日 県への要望会(学習センター)
・・・全議員
- 8月15日 戦没者慰霊祭(海造院)
村政調査会・・・全議員
- 8月25日 知事を囲む懇談会(盛岡市)・・・議長
- 8月27日 米田地区二百十日祭・・・議長
- 8月30日 県町村議会議長会 中央研修会
(東京)・・・議長・副議長

《9月》

- 9月 3日 上明内・下明内地区二百十日祭・・・議長

あ と が き

今号より広報委員が一新し、新体制でのスタートとなりました。議会の内容をわかりやすくお伝えすることはもちろんのこと、村民の皆様様に親しみをもって読んでいただける紙面づくりを心掛けてまいります。皆様からのご意見、ご感想を随時お待ちしております。(中川)

表紙の写真 10.14 ボランティア祭り
毎年役場前広場で開催されるボランティア祭りですが、今年は初めて保健センター内で開催されました。